

校報 北斗 冴ゆる

文責：一関市立舞川中学校 校長 今川 晋

2024年11月27日（水）

～遂げずばやまじ～

一関市立舞川中学校
学校だより No.10



生徒総会開催 ～向上からChangeへ～



去る11月15日（金）、生徒総会が本校体育館で行われました。

前期スローガン「向上」を掲げ、昨年秋から現3年生が生徒会活動をリードしてくれました。少ない人数での活動だった3年生は、文字通りフル稼働で駆け抜けた1年間だったのではないのでしょうか。引継ぎ式では、これまで会長を務めた3年 吉家 彩さんは「後輩たちの活動を助け、協力します」と力強いエールで後輩たちを激励しました。

そして、バトンを引き継いだ新会長の2年 小野寺 暁士さんは、「舞中生一人ひとりがいきいきと活動に取り組む生徒会を目指したい」と後期スローガン「Change」を宣言し、先輩たちの活動を引き継ぎ、さらにより良くしていく決意を述べました。

総会では、各学年から活発な質疑が繰り広げられ、自分たちの舞中をしっかりと創り上げるぞという全校の思いが感じられました。



議長 菅原 駿さん



書記 千葉美音さん 吉田陽依さん

答弁を相談する執行部員たち



後期生徒会の新メンバーたち



質問席（1年生）



質問席（2年生）



郷土芸能「善樂流獅子舞」学習会

去る11月18日(月)6校時本校体育館で「善樂流獅子舞」保存会の熊谷会長はじめ5名の皆さんにおいでいただき郷土芸能学習会を行いました。

江戸時代初めに山岳信仰の中心である和歌山県熊野の山伏が人々の安全と幸福を祈って、この地に伝えたとされています。それから400年余り、この舞川で脈々と伝えられてきた郷土芸能です。獅子たちは時に人懐っこく、生徒や職員の頭を「パクパク」と甘噛みします。これは縁起が良いとされており、噛まれた方も満面の笑みを浮かべて受入れます。中には獅子の体内に取り込まれた生徒もあり、体育館はみんなの笑顔で包まれました。後半は保存会の皆さんご指導による学習会でした。熊谷会長さんのお話では「後継者が少なく大変」とのこと、これを機に中学生が興味を持ってくれたらとのお話でした。『やってみたい・練習見学に行きたい』方は、一関文化伝承館までお問い合わせください。保存会の皆さんのご対応とご指導に心から感謝申し上げます。



高校入試説明会～3年生へのエール～

11月13日(水)に本校で行われた3年生徒・保護者による高校入試説明会では、卒業後の進路に関わる大事な説明が行われました。県立高校入試の大きな変更点は、これまでの推薦入試が「特色入試」(校長推薦不要)となりました。希望者は、各高校が求める『生徒像』に自身の中学校3年間の取組みを照らし合わせて、高校生活への希望をアピールする形式です。(右のQRコードから「入試概要や各高校の生徒像を確認できます。)



【県HP】

3年生はこれから特に大事な時期を迎えます。他人事ではない、自分のこととして、強い意志をもって、目標に向かって努力を積み重ねるお互いの姿が、壁を乗り越えるときの大きな支えになることから**高校入試は『団体戦』**とよく言われます。3年生は夏休み前から放課後学習に取り組んでいますし、8名全員が自分自身の進路目標に向かってそれぞれの歩みで前進しています。学校も、保護者も、地域も3年生のみんなのことを応援しています。

来週の月曜日から12月に入ります。早いもので今年も残り1か月。県内ではインフルエンザによる学級閉鎖等のニュースも聞こえてきました。学校に悪いかぜをはやらせないためには、1・2年生の健康管理が特に大切です。学校をあげての手洗い・うがい、規則正しい生活の励行は、3年生の頑張りを支えることにつながります。